平成18年度「コンパイラ」定期試験問題

國島丈生

2006-07-26

- 1. 以下の間に答えよ。
 - (a) 中置記法の式 82/2 (9 * 10) を後置記法に変換せよ。数字の区切りには空白記号を 1 つ置くこと。 (5 点)
 - (b) スタックを1本用いて、上で得られた後置記法の式を計算することを考える。計算の過程でスタックの状態 (スタックにどのような記号が積まれているか) がどのように変化するか、順に図示せよ。 (10点)
- 2. 以下の間に答えよ。
 - (a) アルファベット $\{0,1\}$ 上の正則表現 1*(0|1)* の表す言語は何か。日本語で説明せよ。(10 点)
 - (b) アルファベット $\{0,1,2\}$ 上の記号列で、2 が 2 度だけ出現するものすべてからなる言語 L を考える。L を表す正則表現、および L を受理する有限オートマトンを示せ。(20 点)
 - (c) 正則表現 R,S について、交換法則 $R\mid S=S\mid R$ が成立することが知られている。これはなぜか、説明せよ。R,S の表す言語 L(R),L(S) を説明に用いてよい。(5 点)
- 3. 次の文脈自由文法について、以下の問に答えよ。

$$\begin{split} S &\to AB \\ A &\to 0A1 \mid 01 \\ B &\to B2 \mid 3 \mid \epsilon \end{split}$$

- (a) 記号列 00112 に対する最左導出と最右導出を示せ。(10 点)
- (b) 記号列 00112 に対する解析木を示せ。(5点)
- (c) この文法を、左再帰を含まない等価な文法に変形せよ。(10点)
- 4. 次の文脈自由文法は LL(1) 文法か、判定せよ。(15 点)

$$\begin{split} S &\to aSe \mid Bb \\ B &\to eBa \mid Cc \mid \epsilon \\ C &\to dCc \mid \epsilon \end{split}$$

5. 次の翻訳スキームについて、以下の間に答えよ。なお、非終端記号の添字は左辺と右辺の記号を区別す

るための記法であり、例えば U_1 はUと同じであるとみなしてよい。

$$\begin{split} U &\to C \left\{ U.l = C.l; \right\} \\ U &\to U_1 + C \left\{ U.l = U_1.l \cup C.l; \right\} \\ C &\to L \left\{ C.l = L.l; \right\} \\ C &\to C_1 L \left\{ C.l = C_1.l \cdot L.l; \right\} \\ L &\to (U) \left\{ L.l = U.l; \right\} \\ L &\to 0 \left\{ L.l = \{0\}; \right\} \\ L &\to 1 \left\{ L.l = \{1\}; \right\} \end{split}$$

- (a) 記号列 01+10 に対する意味動作 (プログラム断片) 付き解析木を示せ。(5 点)
- (b) 記号列 01+10 について、開始記号 U の属性 l の値を求めよ。 (5 点)